

令和 6 年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

○活動報告書は、HP で公表しますので、公開可能な内容としてください。
○データのサイズは、写真を含め、8M以内に収め、ワード文書にて提出してください。
○こちらの報告書フォームに沿って全て記入してください。

令和 7 年 3 月 25 日

団体所在地 東広島市黒瀬町丸山 1453-4
団体の名称 東広島市立中黒瀬保育所
職 ・ 氏 名 所長 村瀬 文女

1 活動報告

【4 月～6 月】(春季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列
4 月 春の遠足 (保育所周辺、龍王公園)
5 月 夏野菜の苗植え
向日葵、朝顔、瓢箪、ヘチマの種まき
6 月 じゃがいも掘り (地域の方の畑)
玉ねぎの収穫
オニオンスープクッキング

【7 月～9 月】(夏季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列
7 月 ミミズの教室①
夏野菜の収穫
夏野菜ピザクッキング
9 月 ミミズの教室②
冬野菜の苗植え、種まき
イチゴの苗植え

【10 月～12 月】(秋季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列
10 月 ワークショップ (ブランコ)
秋の遠足 (保育所周辺、龍王公園)
11 月 焼き芋会
たき火 (メタルマッチで火起こし)
12 月 ミミズの教室③
冬野菜収穫
豚汁クッキング

【1 月～3 月】(冬季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列
1 月 ポリ袋クッキング (おにぎり)
たき火でマシュマロ
3 月 ミミズの教室④

活動報告（詳細）

1シーズンにつき最も印象的だった活動のエピソード1つご記入してください。

エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。

写真は基本1枚です。

【4月～6月】

（写真）



（エピソード記述）

今年度は「園内に自然を増やそう！」とクローバーや花を園内に植え、雑草もあえて取らない一角を設けた。昨年度までは虫取りをしても捕まえられる虫が少なかったが、今年度は草むらにはバッタやちょうちょうがきて、パンジーやビオラにはツマグロヒョウモンの幼虫がたくさん生まれた。連日虫取り網を持った子どもたちが虫探しを楽しむ姿が見られた。捕まえた虫を逃がせず、クラスで飼うことにした子どももいれば、飼ったものの世話を忘れて死なせてしまうなどもあった。その中で子どもたちが虫を捕まえ集めるだけでなく、捕まえしっかり観察できた満足感から虫の命を感じて「逃がしてあげたい…」と考えるようになるなど子どもの心の成長があった。

【7月～9月】

（写真）



（エピソード記述）

昨年度まで大きな総合遊具のあった場所に、春から木製のデッキ、ハーブの花壇、小さな芝生の小山などを作り環境を整備してきた。そのことでずいぶん自然の草花が増え、虫が寄ってくる子どもたちにとって安心して遊べる場所になった。そこではひまわり、おしろい花が植えてあり種取りや色水作りを楽しむ子どもが多くいた。この日も1歳児のR児が、年長児のM児の作っていた色水に興味を持ち、M児に「それ、ちょうだい」と言うように両手を差し出すジェスチャーで訴えていた。言葉はなくてもそのしぐさにM児も「これ？」と答え、ひまわりの種を一つ取り出し、R児に手渡した。貰ったR児はヒマワリの種をつまんで嬉しそうにしていた。この場所が安心安全な異年齢の交流の場になっている。

【10月～12月】

(写真)



(エピソード記述)

年長児がサツマイモの収穫後に芋づるでリースを作った。芋づるだけでは足りなかったので、後日山で取ったツルでも作れるように用意した。その際に、保育士がツルでかごも作れることを見せて知らせると年長児にかご作りが広まった。編み始めを保育士が手伝うと後は子どもたちで編み始めることができ、個々の編む力加減でお皿のようになったり、茶碗のようになったりして形が変わることの面白さを感じていた。ツルがなくなってしまった後は、朝顔のツルでのかご作りが広がり、扱いやすさから年長児だけでなく年中児も挑戦し作る姿が見られるようになった。子どもたちの「うえ、した、うえ、した…」とツルを編むリズムにのった声が聞こえ、秋の手仕事をじっくり楽しむ姿があった。

【1月～3月】

(写真)



(エピソード記述)

焚き火を始めた秋頃から、焚き火の魅力にはまったI児。毎日「たきびしよう～」と保育士を誘いメタルマッチを使ってどうやったら火が点くのか試しながら考え挑戦を続けていた。冬頃には火が点きやすいよう風よけを作って囲ってみたり、燃えやすいものを選んで置いてみたりして、メタルマッチでの火おこしにも成功するようになっていた。成功したことにより焚き火の魅力を知ったI児は這いつくばって息を吹きかけ火を大きくする方法も気づいていた。夢中のあまりたき火がやめられない姿もあったI児だったが、十分に楽しんできたことで遊びを終える時間を見通して、組んだ焚き火の木や木くずをきれいに燃やしきるという焚き火達人のような、奥深い楽しみ方をするようになっていた。

2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- ・ 職員の資質向上について

（例）こども環境管理士を担当保育士が取得（12月）

- ・ 保育環境づくり勉強会をおおぞら教育研究所の木村先生を招聘して実施した（8月）
- ・ 園庭環境づくりのワークショップ（ブランコ）を地域の方、保護者の方と共に実施し交流した（10月）

- ・ 地域との関わりについて

（例）専門知識のある地域の方に園庭のぶどうの木の選定や野菜づくりを月一回交流（毎月）

- ・ ジャガイモの植え付けから収穫を地域の方の畑を借りていっしょにおこない交流（3月、6月）
- ・ ワークショップでは専門知識と技術のある地域の方や保護者に教わりながら園庭環境づくりを実施し交流した（10月）

- ・ 保護者との関わりについて

（例）果物や野菜を保護者と一緒に収穫（毎月）

- ・ 保育環境づくり勉強会をおおぞら教育研究所の木村先生を招聘して実施した（8月）
- ・ ワークショップ（ブランコ）を環境整備として保護者と一緒に行った（10月）

- ・ その他

＊より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページや SNS の URL をご記入ください。

U R L	
-------	--